

◎町長あいさつ

○議長（土屋清武君） 申し上げます。

町長から発言を求められておりますので、この際発言を許します。

○町長（長嶋精一君） 平成31年松崎町議会第1回定例会の閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

不信任決議案が決議されたということについては、大変、あの、残念に思います。今後については、粛々と進めて参りますけれども、町のため町民のため、臍を決して、一点の曇りなく、町政運営を進めて参りたいと思います。是非宜しくお願ひしたいと思います。

○議長（土屋清武君） 申し上げます。

3月31日を以て退職をいたします馬場順三会計管理者、山本公教育委員会事務局長からの発言を求められておりますので、この際発言を許します。

○会計管理者（馬場順三君） 退職にあたりまして、一言、ご挨拶申し上げます。

私が、松崎町に入りましたのが、昭和56年4月でございました。それから約30年後、最初の管理職として、配属されましたのが議会事務局長でございました。配属されてまもなく、町議選がございまして、ここにいらっしゃる皆様の中では、土屋議長、藤井副議長、福本議員、佐藤議員が初めて議会の方に入ってこられました。また、ベテラン議員の一人として、稲葉議員もいらっしゃいました。議会事務局では、公務員生活では触れることのできないような大変貴重な経験を積むことができたというように思っております。最近では、若い議員さん方も増えまして、議会の方にも活気が出てきたなあっと感じております。これまでの皆様のご指導にいたしまして、改めて、深く感謝を申し上げますと共に、これからの議会活動が、より活性化されますことをご祈念申し上げて、退職に当たり一言お礼のご挨拶とさせていただきます。本当に、お世話になりました。ありがとうございました。

○教育委員会事務局長（山本 公君） 登壇して発言の機会を頂戴しました。高いところから恐縮ではございますけど、一言ご挨拶させていただきます。

ただいま、ご挨拶をいたしました馬場会計管理者と共に、本年3月31日を持ちまして、定年退職ということになります。役場に奉職いたしまして37年間、企画あるいは観光の部門に携わることが非常に多かったわけでございます。

西暦2000年に行われました伊豆新世紀創造祭、棚田オーナー制度、全国棚田千枚田サミット・・・本当に大変な思いをしてですね、人からは死にそうなくらい大変な顔をしているとい

うようなことを言われたことがございます。ただ、たくさんの皆さんに支えられていただいた結果ですね、今の私の仕事の中でどれも記憶に残るものとなっております。また、課長としましては7年間という短い期間でございました。ただ、企画観光課長として5年間努めさせていただきました。答弁も非常に多くて、私にとってはその5年間っていうのが、2倍も3倍も長い時間を感じられたところでございます。議員の皆様には本当に、多くのご指導をいただきまして、誠にありがとうございました。御礼を申し上げます。

私は、異動あるいは退職をするときに、惜しまれて出て行けるような人間になりたい、そうならばですね最高の幸せだというふうに思っており、これまでやって参りました。まだまだそこまで至ってないのかなあと思っておりますけれども、そんな気持ちでやって参ったところでございます。今月末で、私の役場の人生は一区切りということになりますけれども、今後、地区のことにも関わりながら、これからできることは何かを考えまして、後半戦に望みたいというふうに考えております。

どうぞ、皆様には、健康にご留意され今後ますますのご活躍をされますことを祈念いたしまして、お礼とお別れの言葉にさせていただきたいと思っております。本当に、長い間ありがとうございました。

○議長（土屋清武君） 以上で閉会します。

（午前11時26分）